

## 美術展参加作家 (50音順)



撮影：仲川あい

### 宇治野宗輝

《THE BALLAD OF EXTENDED BACKYARD, THE HOUSE》  
2015 ※2015年10月、MASKにて滞在制作  
家電機器、木、鉄、ミクストメディア  
400×800×700cm(展開時)  
【建築設計】dot architects、片岡慎策



撮影：仲川あい

### 金氏徹平

《Splash and Flake(Pipeline/Kitakagaya)》  
2014 ※2014年11月、MASKにて滞在制作  
Wood, Plastic and Steel Found Objects  
dimensions variable



撮影：守屋友樹

### 久保田弘成

《大阪廻船》  
2013 プレジャーボート、鉄、エンジン、ステッカー  
400×380×550cm



撮影：仲川あい

### 名和晃平

《N響スペクタクル・コンサート  
「Tale of the Phoenix」舞台セット》  
2015 mixed media,  
dimensions variable



撮影：守屋友樹

### ヤノベケンジ

《ジャイアント・トラヤン》  
2005 アルミニウム、鉄、真鍮、FRP、発泡スチロール  
720×460×310cm  
《ラッキードラゴン》  
2009 船、アルミニウム、FRP、他  
1,000×450×1,530cm  
《サン・チャイルド》  
2011 FRP、鉄、ネオン、他  
620×444×263cm



写真：米田有希

約1000㎡の工場・倉庫跡で、国際的に活躍する現代美術作家の大型作品を保管・展示する[MASK (MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA)]。今年も一般公開「Open Storage」を開催します。3度目となる今回は、メインアーティスト・やなぎみわが、収蔵作品であるステージトレーラーを使用した野外演劇『日輪の翼』を、MASKと同じく造船業で栄えた北加賀屋の歴史を色濃く残す造船所跡地にて上演します。さらに、新作写真作品とドキュメンタリー映像をMASKにて発表。公演と作品展示の同時開催は日本国内では初めての試みです。

「見せる収蔵庫」から「進化し続ける収蔵庫」へ。大阪・北加賀屋の工場跡2拠点をつなぎ、新たな創造価値を発信します。

〈クロージングイベント〉

### やなぎみわ ドキュメンテーショントーク

9月19日(月・祝) 15:00～17:00(予定)

詳細は、HPにてお知らせいたします。

湾岸の工業地帯を舞台にした「芸術の超越力の試行:第二章」は、大輪の夏芙蓉の花を抱く舞台車《花鳥虹》を主役に迎える。地縁血縁の業を纏い、路地と聖地を往来しながら放浪する老婆の道行と、耽美的に性とタブーを謳歌する男衆らの営みと共にある巡歴の物語。その旅公演を支える母港は、厚重長大産業の景色、土木建設と重機やトラック、肉体労働の熱気や工場音が日常にある。抗菌・漂白・無味・消臭の価値観によって鈍化していく“私たち”を揺さぶる魅惑の出来事が、今、幕をあける。

木ノ下智恵子 本企画キュレーター

〈対話型作品鑑賞ツアー〉

ひらけ、アートのヒミツ基地！  
みんなで探検ツアー(予定) (全6回)

9月10日(土)、11日(日)  
12:00～(未就学児向け)／14:00～(小学生向け)  
16:00～(おとな向け) 各回約45分

作品への印象・疑問・気づきなど、みなさんの素朴な「？」を自由に話し合いながら、じっくり鑑賞していくツアーです。

【参加費】無料 【申込】参加日日程、人数、名前、連絡先を明記の上「a.kisaka@chishimatochi.com」までお申し込みください。

【鑑賞ツアー・鑑賞ガイドブック監修】藤村南帆・森脇盟子・山崎沙莉香・山本陽子(京都造形芸術大学アートプロデュース学科) 北野諒・青山真樹(京都造形芸術大学アート・コミュニケーション研究センター)

ツアーのほか、鑑賞ガイドブックを受付にて配布しております。



旅路の先々にトレーラーが翼を開けば、  
夜空の下に大輪の花が現れる。  
このトランスフォームは、  
生死、貴賤、聖俗、天地をひっくり返す装置であり、  
中上健次の真骨頂なのです。(やなぎみわ)

台湾で出会ったステージトレーラーに魅せられ、演劇公演を企てたやなぎは、自らがデザインし輸入したステージトレーラーを横浜トリエンナーレ2014で発表。今夏、トレーラーを使って中上健次の傑作「日輪の翼」の演劇公演のツアーを行いました。出演者は俳優だけにとどまらず、大地を踏み鳴らすタップダンサー、天空を舞うサーカスパフォーマー、その間を結ぶポールダンサーのほか、巻上公一によるオリジナル曲を奏でるギタリスト、新内などジャンルも出自も多彩な出演者たちがさまざまな趣向を凝らし、独創的な万物照応の世界が織りなされます。おおさか創造千島財団のMASKは、ステージトレーラーが収蔵されている「母港」であり、本公演の稽古も行われました。名村造船所跡地での『日輪の翼』凱旋公演、必見です！

### 【関連ワークショップ】

ワークショップフェスティバル・ドアーズ 10th

芸術と交通『日輪の翼』に向けて (講師：やなぎみわ)

日時：8月18日(木) 19:00～20:30

会場：メビック扇町

申込先：090-3945-6755 (ドアーズ事務局)

http://www.iwfw.jp/10sche/item\_1609.html

名村造船所大阪工場跡地

日輪の翼(大阪公演)

## 中上健次、生誕70年！

原作者である中上健次は、1946年新宮生まれの作家で、『十九歳の地図』で注目を集め、76年『岬』で戦後生まれとして初の芥川賞作家となる。77年『枯木灘』で芸術選奨新人賞、毎日出版文化賞を受賞。『紀州サーガ』と呼ばれる濃密で重層的な作品群を創出した。代表作として上記のほか『日輪の翼』『千年の愉楽』等。1992年に46歳で他界。今年は生誕70年にあたる。

## やなぎみわ、ステージトレーラーで大阪凱旋公演！

神戸生まれ。1990年代後半より写真作品を発表。国内外での個展多数。2009年、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表。2011年から本格的に演劇活動をはじめ、美術館や劇場等で上演を重ねる。横浜では、KAATとの共同演劇プロジェクトとして2011年に『1924 海戦』、2013年に『ゼロ・アワー 東京ローズ最後のテープ』を演出し、昨年北米5都市を巡回。2014年に今回の舞台として使用するステージトレーラーを横浜トリエンナーレで発表。ついに演劇公演を実現する。京都造形芸術大学教授。

原作： 中上健次「日輪の翼」、  
「紀伊物語」より「聖餐」、  
「千年の愉楽」

演出・美術： やなぎみわ

音楽監督： 巻上公一

脚本： 山崎なし

振付： 辻本佳

照明： 藤本隆行 (Kinsei R&D)

音響： 高田文尋  
(株式会社ソルサウンドサービス)

STPディレクター： 栗津一郎

舞台監督： 大久保歩 (KWAT)

舞台監督助手： 黒飛忠紀 (幸せ工務店)

制作助手： 井尻有美

作曲： 巻上公一  
嶋村泰(「オリエントの康」の一部)  
南谷朝子(女工の歌／蛇の歌)  
重森三果(道行／兄妹心中)

方言指導： 杉浦圭祐

衣装製作： 大野知英

音楽指導： 荒井康太

小道具： 許品祥

衣装製作： 大野知英

衣装管理： 米田有希

広報デザイン： 木村三晴

演出助手： 中野敦之(唐ゼミ\*)

プロデューサー： 高樹光一郎 (HIWOOD)

主催： おおさか創造千島財団  
やなぎみわステージトレーラープロジェクト

共催： 千島土地株式会社

協賛： JHI/EIDO

照明協力： カラーキネティクス・ジャパン株式会社

企画・製作： やなぎみわステージトレーラープロジェクト

【チケット予約】 2016年6月1日より販売開始

e+（イープラス）http://eplus.jp/ ※チケット販売は公演日前日まで  
パソコン・スマートフォン等から予約購入の上、配送または  
ファミリーマート、セブンイレブンにてお受け取りください。

未就学児は勝上観劇のみ無料です。座席をご案内致しますので、事前に主催者までご連絡ください。

			9 / 2	3	4	…	9	10	11	…	16	17	18	19
			金	土	日		金	土	日		金	土	日	月
美術展一般公開	MASK	12:00～18:00	●	●	●		●	◎	◎		●	●	●	☆
「日輪の翼」公演	名村造船所	18:30～21:00	●	●	●									

◎「対話型鑑賞ツアー」12:00～/14:00～/16:00～ ☆クロージングイベント(予定)

本公演は、野外公演のため、台風などの荒天時は中止の可能性があります。公演当日12時に開催の有無を決め、主催者ウェブサイト及び、やなぎみわオフィシャルHPにてお知らせいたします。



http://www.chishimatochi.info/found/

f yanagimiwa

http://www.yanagimiwa.net



◎大阪市営地下鉄四つ橋線「北加賀屋駅」4番出口より徒歩10分  
◎阪神高速堺線「玉出」出口より約5分  
近隣に有料駐車場あり

クリエイティブセンター大阪：06-4702-7085  
MASK：06-6681-6170